

CSR report
2 0 1 3

興銀リースグループは
CSR(企業の社会的責任: Corporate Social Responsibility)を
事業活動の基本に据え、
「お客さま」、「環境・社会」、「株主・投資家の皆さま」、「社員」の
各ステークホルダーの満足と信頼を得ること、
コンプライアンス(法令遵守)や内部統制等「規律」を
徹底することにより、社会の持続的発展に貢献してまいります。

編集方針

本CSRレポートは、興銀リースグループのCSR(企業の社会的責任)への取り組みについて、皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的に発行しております。
このレポートを通じて、「お客さま」、「環境・社会」、「株主・投資家の皆さま」、「社員」及び「規律」に関する当社グループの取り組みをご紹介します。

報告対象期間

2012年4月から2013年3月まで(一部期間外の取り組みを含みます)

報告対象範囲

興銀リースグループ全体を対象としています。

contents

02 トップメッセージ

04 **お客さまとともに**

興銀リースグループの主要な商品・サービス
社会とともに
環境・エネルギー分野への取り組み
医療・介護分野への取り組み
生活とともにある興銀リースグループの事業
社会に貢献するさまざまな事業
循環型社会への取り組み
海外での事業展開
グループ会社が提供するソリューション

22 **社員とともに**

ワーク・ライフ・バランス
多様な人材の活用
社員一人ひとりの成長のために

26 **環境・社会への取り組み**

環境・社会への取り組み

28 **株主・投資家の皆さまとともに**

株主・投資家とのコミュニケーション

30 **興銀リースについて**

コーポレート・ガバナンス／内部統制
コンプライアンス／リスクマネジメント
興銀リースグループの概要



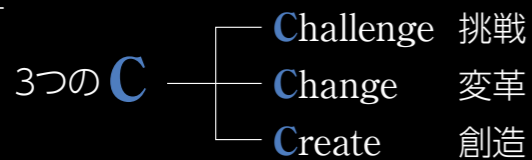
■ 企業理念

私たちは、豊かな未来へ繋がる価値ある金融サービスの提供を通じて、広く社会に貢献する企業グループを目指します。

■ 経営方針

1. お客様のニーズにお応えし、グループの総合力を結集して、的確かつ迅速なサービスの提供を目指します。
2. 株主・市場からの評価と信頼の一層の向上に努めます。
3. 積極的な人材の育成・登用と自己研鑽を通じて、活力に満ち、働き甲斐のある会社風土の醸成に努めます。
4. 法令及びその精神を遵守すると共に、企業としての社会的責任を常に認識し、広く社会の理解と共感を得られる企業グループを目指します。

■ 行動指針



興銀リースグループの事業は、金融、物件、法令、会計・税務などさまざまな側面でわたしたちの社会、経済、環境等と密接に結びついており、またグローバル化の進展に伴いその範囲は世界に広がっております。

興銀リースグループは現在、第3次中期経営計画(2011年度～2013年度)の最終年度にあり、その総仕上げ、また同時に次の中期経営計画の基礎固めに全力で取り組んでおります。その一環として当社は、2013年9月に公募増資を行いました。事業活動をより一層、加速、強化することで、従来にも増して社会のさまざまなニーズにお応えし、社会に貢献してまいります。

■ お客さまとともに

興銀リースグループは、変化し続ける社会、経済において、事業を通じて貢献していくことで社会的責任を果たしてまいります。たとえば分野・物件といたしましては、当社グループの強みである「産業機械設備」、高度情報化社会を支える「情報通信」、個人消費の多様化に伴う「流通・小売」、「物流」、社会的課題である「医療・介護」、「環境・エネルギー」、加えて「不動産」、「船舶」、「航空機」などの専門分野、また政府の成長戦略などにより変化し続ける、社会及びお客さまのニーズに対し、グループの力を結集し、豊富な経験とノウハウ、高い専門性に基づく最適なソリューションをご提供しております。

海外については、日本企業が、生産拠点のみならず新たな消費地としても進出を加速するアジア地域において、当社営業拠点(中国、インドネシア、タイ、フィリピン)に加え、他の国々へ進出されるお客さまのニーズにお応えするため、タイ(バンコク)に「アジアデスク」を設置し、各国の金融環境や税務・会計制度に対応した金融サービスをご提供しております。

■ 内部管理態勢の強化と情報公開

興銀リースグループは、社会的存在である企業の責任と役割を継続的に果たすため、独立性の高い社外役員による経営監視機能の強化に積極的に取り組むなどコーポレート・ガバナンスの充実、強化を図るとともに、内部統制を有効かつ適切に整備、運用しております。またコンプライアンスの徹底に努めるとともに、事業活動において発生するさまざまなリスクを迅速かつ的確に管理する体制を整備、運用しております。

あわせて、広く情報公開に努め、公平かつ適時、適切な情報開示により、企業活動の透明性の確保を図っております。

■ 社員及び環境・社会

興銀リースグループは、こうした事業活動を持続的に発展、推進していくためには、社員が最も重要な経営資源であり、社員一人ひとりが能力を十分に発揮し、向上させることが不可欠であると考えております。そのため、人材育成の各種施策の充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現を進めております。また事業活動において日々、環境負荷の軽減に努めること、社会貢献活動を実行することが大変重要と考えています。

興銀リースグループは、CSR(企業の社会的責任 Corporate Social Responsibility)を基本に据えた事業活動を組織的かつ継続的に推進することで、持続的な社会の実現と企業価値の向上を目指しております。

今後も役職員一同、皆さまの期待にお応えし、社会から評価され、信頼を得られるよう、たゆまぬ努力を続けてまいりますので引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 CEO

大西 節

興銀リースグループの主要な商品・サービス



主要な商品・サービス

■ ファイナンス・リース

お客さまが選定した機械設備をリース会社が購入し、お客さまに賃貸する取引です。資金面の他、機械設備の所有・管理に伴う事務の代行効果などさまざまなメリットをお客さまにご提供しています。

■ オペレーティング・リース

機械設備の将来価値をあらかじめ差し引いてリース料を算定する取引です。ファイナンス・リースの資金、事務代行等のメリットに加え、オフバランス等、会計・税務上のメリットがあります。

■ 割賦販売

お客さまが選定した機械設備をリース会社が購入し、お客さまに分割払いで販売する取引です。

■ オートリース(メンテナンスリース)

自動車を対象としたリース商品です。車両管理サービス等も含めたリースにより、お客さまの管理負担の軽減、安全運行の確保に役立っています。

■ 貸付

さまざまな資金ニーズに関し、リース会社が資金を融資する取引です。

■ 債権買取、支払委託

債権買取は、お客さまが有するさまざまな債権をリース会社を買取り、資金化する取引です。支払委託は、お客さまの支払債務をリース会社が立替払いし、その後リース会社へお支払いいただく取引です。

■ 不動産リース、入居保証金の流動化

不動産リースは、建設工事費、各種税金等の資金を「家賃」として、費用を長期平準化する取引で、不動産のオフバランスも可能です。入居保証金の流動化は、固定化された入居保証金を流動化することでお客さまの資金効率の向上に役立つ取引です。

■ 環境・エネルギー

環境・エネルギー関連の機械設備に係る、リース、割賦、貸付等の取引とあわせて、補助金などの情報提供、申請サポート等をご提供しています。

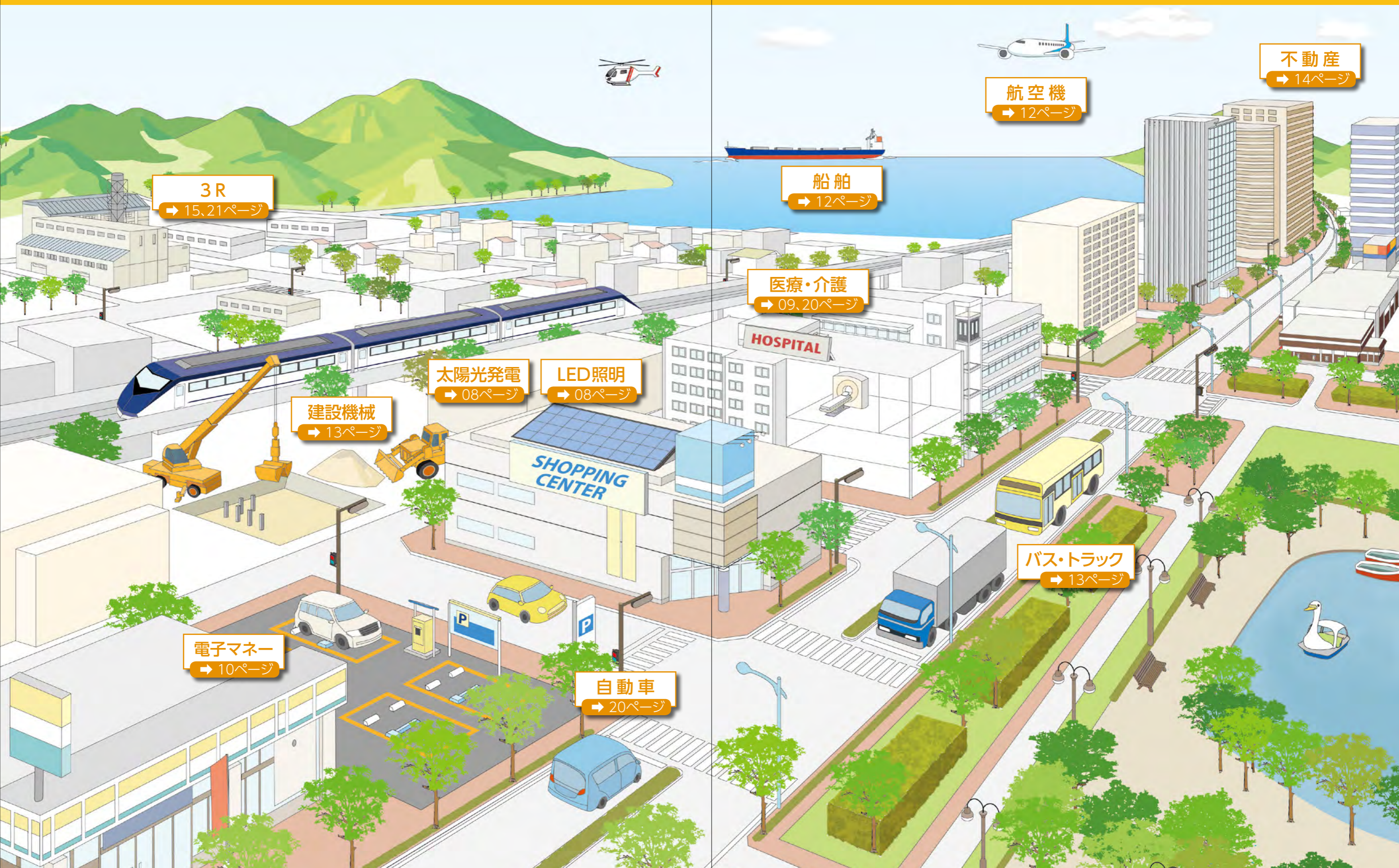
■ 国際関連

海外での機械設備導入や資金ニーズに対し、国内契約の海外設置、クロスボーダーリース・割賦、現地法人間の契約、外貨建て取引等を提供しています。

■ 遊休資産の買取

お客さまの遊休・不要となった各種中古設備の査定、買取を行っています。

社会とともに — 興銀リースグループは、事業活動を通じて、社会の持続的発展に貢献してまいります —



環境・エネルギー分野への取り組み

興銀リースグループは、環境・エネルギーに関する社会的取り組みを推進するため、興銀リースに「環境営業推進室」を設置し、お客さまの発電設備をはじめ環境・エネルギー関連の設備導入に際しては、リース等のファイナンスに加え、関連の補助金制度をご利用いただけるよう、ノウハウ、申請等のサポートを含めた商品・サービスをご提供しています。

太陽光発電設備導入に伴うファイナンス提供

株式会社ヤマダ電機さまにおかれましては、自社店舗に太陽光パネルを設置されるにあたり、当社がご提案したパネルリースと付随費用のファイナンスをあわせた複合スキームをご採用いただきました。

株式会社ヤマダ電機さまは、運営する約140店舗に太陽光パネルの設置を進め、CO₂削減などの環境対策に積極的に取り組むとともに、自家発電による省コスト化や、自社が展開する「スマートハウス」のPRに活用されています。

大宮支店
支店長代理 宮下 昭彦



太陽光パネルの導入に積極的に取り組まれているヤマダ電機さまに、よりメリットのあるご提案をとの思いから、太陽光パネルのリースに加え、付随費用のファイナンスをご提案いたしました。

今後も、さまざまなノウハウを活かし、お客さまにメリットあるファイナンスサービスをご提供していきます。



ヤマダ電機さまは太陽光パネル設置店舗の拡大を推進されています。

補助金を活用したリースによるLED導入

当社は、株式会社ダイユーエイトさまが展開するホームセンター等の店舗へのLED照明の導入にあたり、リースファイナンスの提供とあわせ「エネルギー使用合理化事業者支援補助金^(※)」の申請手続きをサポートいたしました。

株式会社ダイユーエイトさまは、東北地方を中心に展開する店舗の照明をLEDに切り替え、節電効果による消費電力抑制と同時にCO₂削減による環境保護を積極的に推進されています。

※ 省エネルギーへの取り組みのうち、政策的意義が高いと認められる設備導入に適用される補助金制度



ダイユーエイトさまは、LEDの導入をはじめ環境に配慮した店舗づくりに注力されています。



株式会社ダイユーエイト
店舗開発部
建築修繕課長 松林 昌良 様

この度の補助金申請は、リース会社との共同申請で短期間かつ煩雑な手続きが必要となるため、信頼のおける興銀リースを指名しました。

ファイナンスと補助金の両面からきめ細やかな対応をしていただいたことで円滑な導入が実現でき、大変感謝しております。

医療・介護分野への取り組み

高齢化社会の進行や医療制度改革など、医療・介護分野への取り組みは、社会においてますますその重要性が増しており、政府の成長戦略においても重点分野として掲げられています。

興銀リースグループは、先端設備の導入のみならず、メンテナンスや診療報酬等運営に関する事項まで、医療・介護関係者の皆さまのさまざまなニーズに対し、最適なソリューションをご提供しています。

メンテナンスを含むリースによる医療機器の導入

国立大学法人東京大学さまが、東京大学医科学研究所附属病院に導入されるMRI(Magnetic Resonance Imaging:磁気共鳴画像診断装置)について、シーメンス・ジャパン株式会社との連携により、メンテナンスを含むリースをご利用いただいています。

東京大学医科学研究所附属病院さまでは、がん、感染症・免疫疾患、血液疾患などの病気をお持ちの患者さまへの治療とあわせて、予防医療、最先端医療に注力されており、ワクチン、分子標的治療、再生医療なども特色となっています。



医療福祉営業部
長辻 勇樹

東京大学さまが、MRIの入れ替えに際し、導入後のメンテナンスを含むさまざまな課題を検討されていたため、トータルなソリューションをご提案いたしました。

当社は、お客さまが社会により良い医療をご提供できるよう、全力でサポートさせていただきます。



この3テスラMRIは、画像の一層の鮮明化により、初期の病変や小さな病変の発見が期待されています。

割賦販売を利用した先端医療設備の導入

国立大学法人筑波大学さまは、日本初のガントリー移動型の術中MRI^(※)を筑波大学附属病院に導入されるにあたり、当社のファイナンスメニューのひとつ割賦販売をご利用されました。

筑波大学附属病院さまでは、高度に専門化された医師、看護師、技師の統合的チーム診療を能率よく受けられる体制の確立・維持及び優秀な臨床医の養成を推進されています。

※患者さまを動かさずにMRI装置を移動して撮影できる日本初の装置



筑波大学附属病院さまでは、中規模・大規模手術室を新設し、また手術件数増加への対応のため、重症病床も増床されました。



筑波大学附属病院
脳神経外科診療グループ長
松村 明 教授

リース会社の割賦販売は、銀行等からの借り入れ同様のファイナンス効果があることから、今回のMRIの導入にあたって活用させていただきました。

当院は、このガントリー移動型の術中MRI装置をはじめ数々の先端的医療環境を整備し、利用者の皆さまにとって快適な療養環境を提供してまいります。

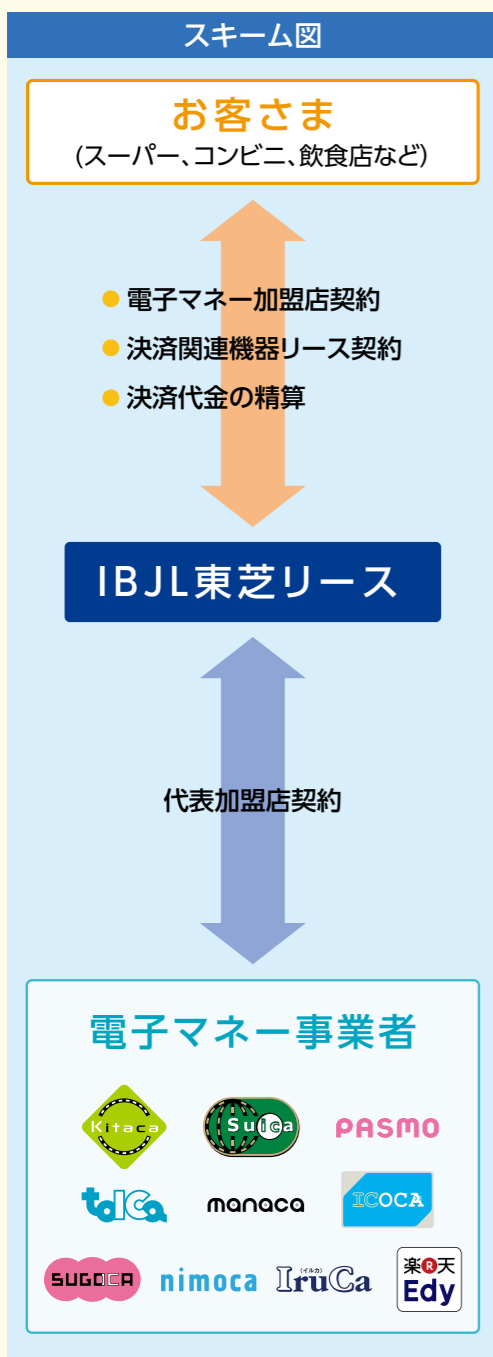
生活とともにある興銀リースグループの事業

興銀リースグループは、電子マネーの利用拡大など、わたしたちの日々の消費行動、代金決済といった生活とともにあるさまざまなニーズに対し、最適なソリューションをご提供しています。

電子マネーマーケット拡大への対応

昨今、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、飲食店など、全国的に交通系電子マネー（Suica、PASMOなど）決済の導入が進んでおり、小銭での支払いに代わり、「ピピッ」と代金決済する光景は日常的になってきています。

当社グループ会社のIBJL東芝リース株式会社では、電子マネーを導入されるお客さまに対して、関連機器のリースのみならず、加盟店契約、またご利用がスタートしてからは決済代金の支払いにいたるまで、ワンストップでのソリューションをご提供することで、煩雑な手続きを解消し、スピーディーな電子マネーの導入を実現しています。



IBJL東芝リースだからできる3つのメリット

- 1 電子マネーの「加盟店契約」と決済関連機器の「リース契約」をワンストップで提供
- 2 精算窓口（リース料/決済代金）の一本化による業務効率化
- 3 全国の電子マネー事業者との提携により、あらゆるエリアで対応可能

IBJL東芝リース株式会社
ネットビジネス営業部
部長 中澤 仁晴



当社は、全国の電子マネー事業者と加盟店募集で提携していますので、全国どのエリアでも導入されるお客さまが希望する電子マネーサービスをご提供できます。また、電子マネーの加盟店契約と決済関連機器のリース契約を同時に行えるのも当社の大きなメリットです。

実際に導入されたお客さまからは「高い利用率とスピーディーな決済により混雑が緩和された」、「利便性が向上した」など、ご好評をいただいております。

※記載のマーク・商品名は各社の登録商標です。

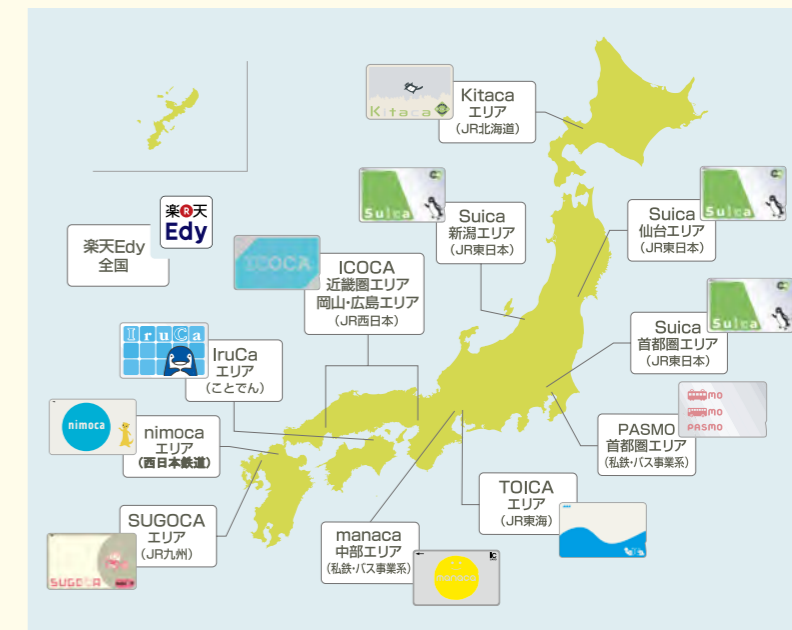
電子マネーの導入実績

拡大する電子マネーマーケットにあわせ、全国規模のコンビニエンスストアやショッピングセンターなど、あらゆる業態・さまざまな電子マネー対応機器への導入実績があります。



全国の電子マネー事業者と提携

全国の電子マネー事業者と加盟店募集で提携しているため、店舗の全国展開を検討されるチェーン店さまや複数の電子マネー契約をご希望されるお客さまにもスムーズな導入をサポートしています。



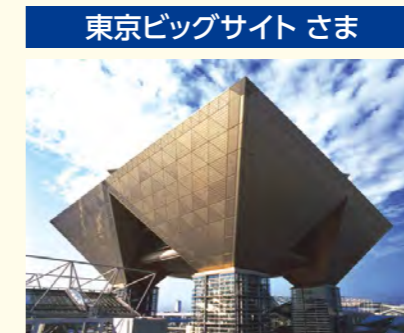
電子マネーを導入されたお客さまの声



導入サービス名: Suica決済
利用シーン: 社員食堂
業種: システムインテグレーター
地域: 首都圏

食堂利用者（計2,200名）の約99%が、Suica決済を利用。導入結果に満足しています。

東芝ソリューション株式会社さまは、従来利用していたプリペイドカードによる決済方式の見直しをきっかけに、府中地区にある事務所の食堂2か所にSuica決済とオートレジを導入されました。高い利用率とスピーディーな決済で精算時の大幅な混雑緩和を実現されました。



導入サービス名: Suica決済
利用シーン: ショップ・レストラン
業種: 公共・自治体
地域: 首都圏

電子マネー決済は私達にも新しい試み。今後はさらなるサービス向上につなげていきたいですね。

国内外から多数の出展者や来場者が集まる国際展示場「東京ビッグサイト」。さまざまなお客さまの決済ニーズへの対応と、混雑緩和という課題を解決するために、施設内の飲食店を中心としたほとんどの店舗に電子マネー決済が導入されました。



導入サービス名: SUGOCA決済
利用シーン: スーパーマーケット
業種: 生活協同組合
地域: 九州

急増する電子マネー利用顧客を逃さない。リスクヘッジの側面にもメリットを感じます。

大分県内に7店舗を展開する生活協同組合コープおおいたさまは、大分駅構内にある店舗を中心に、SUGOCA決済及びPOSシステムをリースで導入。決済方法の選択肢を増やしたことにより、駅を利用するお客さまの利便性を向上させました。

社会に貢献するさまざまな事業

世界的な航空需要の広がりに伴い、エアライン及び航空機自体に関するさまざまなファイナンス・ニーズが増えています。

当社は、日本型オペレーティング・リース（投資家からの出資と損益分配）や航空機担保ローンなどのご提供を通じ、拡大する航空需要にお応えしています。



航空機 [投資商品・航空機営業部]

国内の旅客、貨物の旺盛な移動を支えるトラックやバスは、各種環境規制への対応、安全運行の確保、また経費・環境両面での省燃費等、最新の車両の導入ニーズが伸びています。

当社は、車両に係るファイナンスと同時に、各種補助金の手続きに至るまで、お客さまの幅広いニーズにお応えしています。



バス・トラック [自動車営業部]

船舶 [船舶営業部]



石油等の資源、食糧、自動車等、船舶を用いた世界的規模の物流は、グローバル化の進展とあわせて、ますます拡大かつ重要性を増しています。

当社は、船舶ファイナンスの長い経験、ネットワーク、知見等に基づき、船舶の持ち主となる船主さま、船舶を使用する大手海運会社さまのニーズにお応えすることで、世界の物流に貢献しています。

建設機械 [建機営業部]

東日本大震災からの復興、高速道路等インフラの更新や強化、そして2020年の東京オリンピックなど、建設機械のニーズは、近年ますます高まっています。

当社は、建設機械のメーカー、販売会社、レンタル会社、建設会社の皆さまとの強固な連携や知見に基づき、さまざまなファイナンスメニューをご提供することで、わたしたちの暮らしの基盤整備に貢献しています。

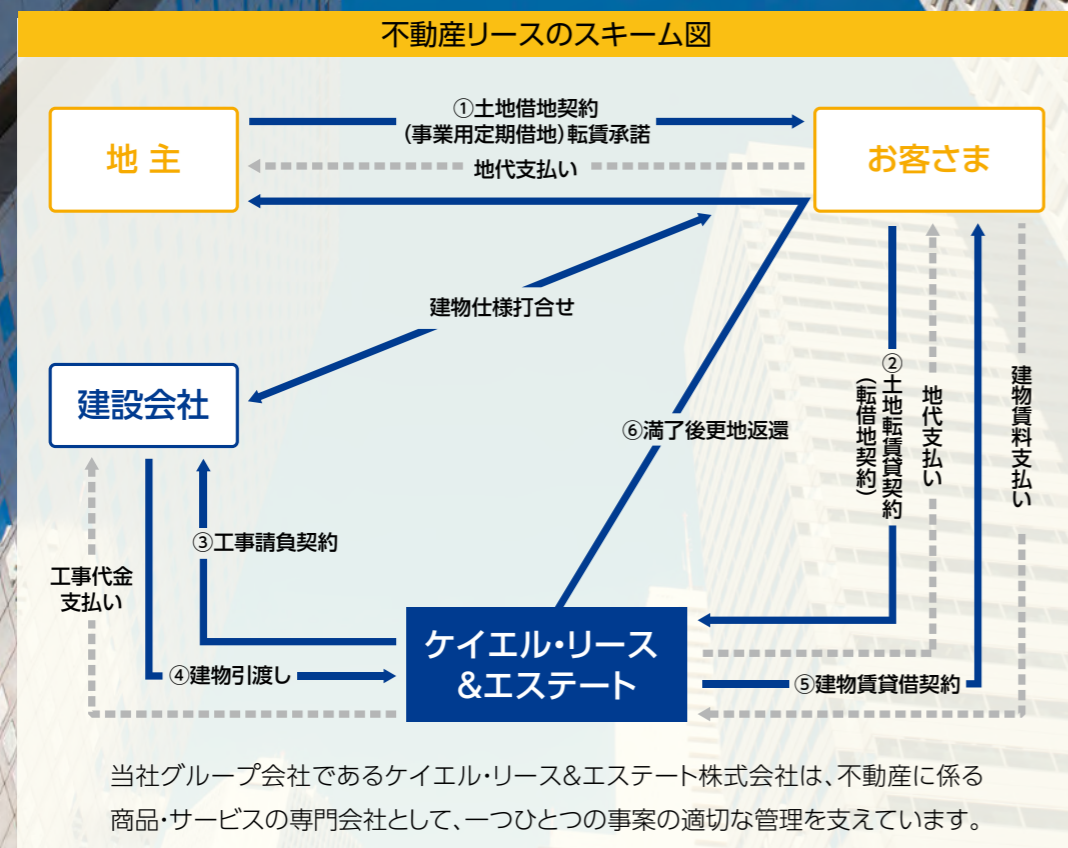


社会に貢献するさまざまな事業

不動産 不動産営業部 ケイエル・リース&エステート株式会社

個人消費の伸長や内需拡大に伴い、オフィスビルや商業施設、物流施設等のニーズが高まっています。また高齢化社会に向けた医療・介護関連施設の充実など、不動産に係るファイナンスニーズが拡大しています。

当社は、不動産の利用者となるお客さまをはじめ、地主さま、建設会社さま等幅広い関係者の多様なニーズにお応えするため、豊富な経験と高い専門性を用いて、不動産ファイナンスや不動産リース等さまざまなスキームをご提供することで、より良い社会作りに貢献しています。



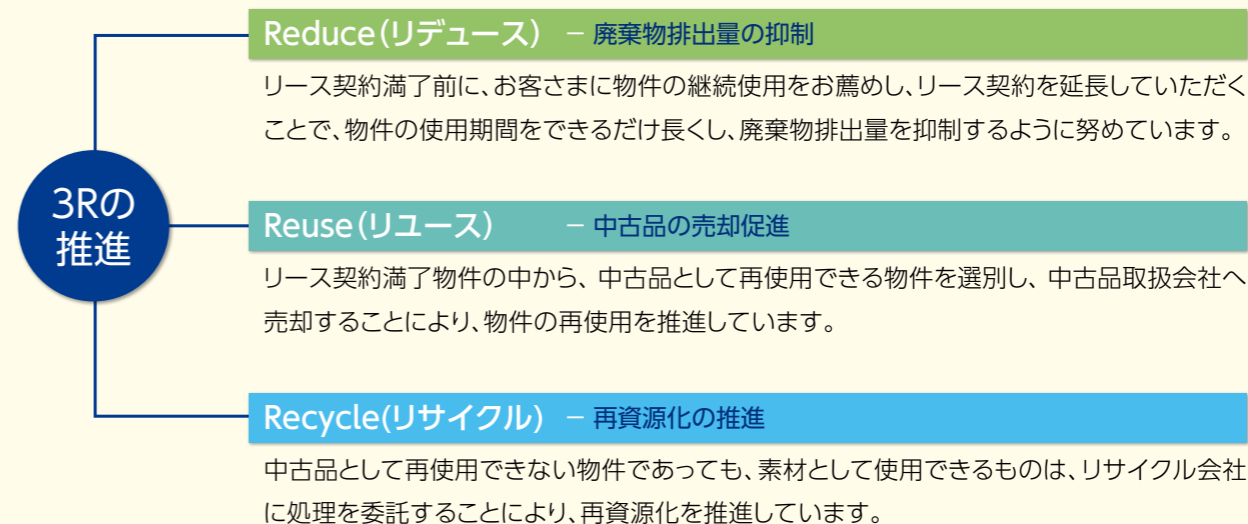
循環型社会への取り組み

リース事業は、再リースやリース終了物件の処理を通じ、3R (Reduce・Reuse・Recycle) を実践し、循環型社会の形成、産業廃棄物の適正処理に大きく貢献しています。

リース満了物件の適正処理を通じた3Rの推進

リース取引では、リース会社の「所有」する物件をお客さまが「使用」されていることから、リース契約満了後、物件はリース会社に返却され、リース会社が廃棄、売却等の物件処分を行っています。

興銀リースでは、満了処理業務を「資産営業部」に集約し、廃棄物処理法等の環境法令に則したリース物件の適正処理に加え、3Rの推進に努めています。



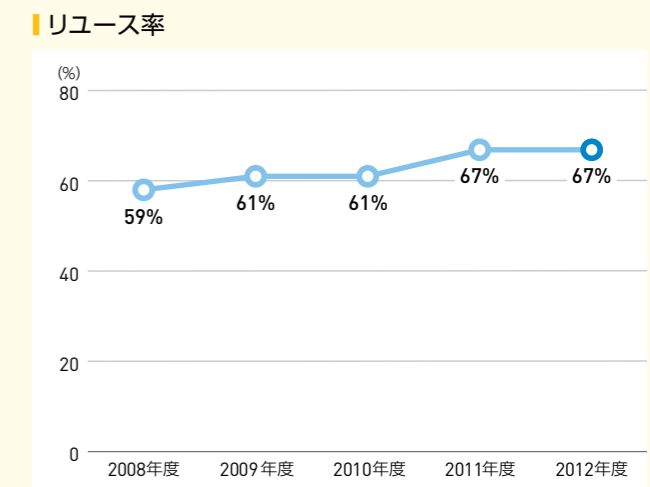
産業廃棄物処理会社の選定及び定期調査

当社は、リース契約満了物件の処理を委託する産業廃棄物処理会社を選定する際、必ず現場に赴き、当社独自の評価基準に基づき、「処理方法」、「保有設備」、「リサイクル実績率」などのさまざまな項目を調査、評価のうえ、適法処理はもとより、特にリサイクル意識が高い会社を選定し、満了処理を委託しています。

また委託先の産業廃棄物処理会社に対しては、毎年、現地調査とともに選定時と同等の再評価を行い、委託の継続可否を判断しています。



現地調査先の産業廃棄物処理会社



※リユース率とは…売却件数/リース・再リース終了件数



海外での事業展開

近年、アジア地域は、日本企業にとって、生産拠点としてだけでなく新たな消費地としてもますますその重要性を増しています。興銀リースグループは、お客さまの海外進出をサポートするため、アジア地域における営業体制を強化しており、海外現地法人間の取引、国境を越えたクロスボーダー取引や外貨建て取引など、お客さまのさまざまなニーズに対し最適なファイナンスサービスをご提供しています。

アジアデスクの新設

興銀リースは、アジア地域では既に中国、インドネシア、タイ、フィリピンに営業拠点を展開してきておりますが、現時点では営業拠点を有していないシンガポール、ベトナム、マレーシア、ミャンマーなどのASEAN諸国においても、お客さまのさまざまなファイナンスニーズにお応えするため、2012年10月、タイ（バンコク）に「アジアデスク」を設置しました。

アジアデスク
 首席 伊藤 敏秋

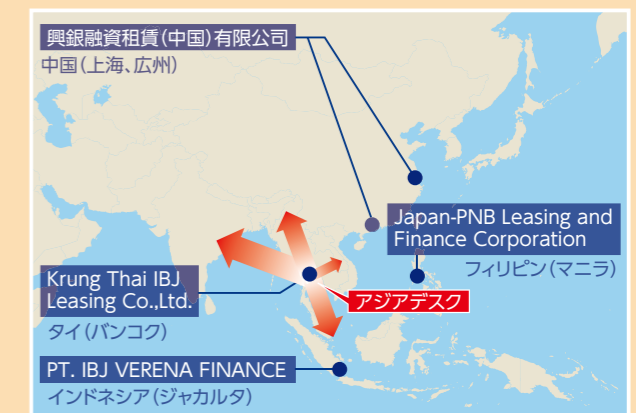


アジアデスクでは、アジア地域の営業サポート、市場・制度の調査のため、ASEAN諸国やインドなどを往訪しております。各国で制度・ルールが相違するのはもちろんですが、英語も各国毎で相当違って聞こえることに苦労しています。また公共交通機関が発達していないため、お客さまとのアポイントに間に合うか心配する毎日です。

今、各国を往訪しながら、「アジアは一つでないこと」を痛感しております。シンガポールでは近代的なビルが立ち並び、ミャンマーは注目度が高いもののインフラの整備はこれからなど、各国の事情はさまざま、お客さまの悩みやニーズもさまざまです。お客さま毎に全く違うニーズにできる限りお応えすることがアジアデスクの役割とっております。

活動状況等

- 往訪国：シンガポール、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、インドなど
- 主な活動状況：
 - ① 営業サポート
 (お客さまへのファイナンススキームのご提案、提案書の作成、英文契約書作成のサポートなど)
 - ② 各国の市場や制度の調査活動



リージョナルヘッドフォーターを設置する企業が増える「シンガポール」



日系企業が入居する「ミャンマー」の工業団地

海外での事業展開

中国 — 興銀融資租賃(中国)有限公司 —

興銀リースの中国現地法人である興銀融資租賃(中国)有限公司は、現在、上海[本社]と広州[分公司(支店に相当します)]の2拠点を有し、日系企業を中心に機械設備の調達をはじめ多様化するファイナンスニーズにお応えしています。

太平洋セメント株式会社さまにおかれましては、中国国営企業との合併会社で、セメントを製造する江南-小野田水泥有限公司さまの原料採掘に使用する油圧ショベルの調達について、興銀融資租賃(中国)有限公司のリースをご利用されました。このように中国現地法人間でのリース取引は、現地金融機関からの借入と同様の効果を持ちながら、借入枠や外債枠の温存が可能で、かつ簡便な手続きで機械設備を調達することができます。

江南-小野田水泥有限公司さまは、NOx排出削減のため、脱硝装置を設置し環境に配慮されています。また自社の水処理工場で作られる飲料水を周辺の農村に無償提供するなど地域社会にも貢献されています。



江南-小野田水泥有限公司さまが製造するセメントは、品質の高さから、強度を要する橋梁や地下鉄などに利用されています。

(写真左) 江南-小野田水泥有限公司 財務総監 山下光宏 様
(写真中央) 江南-小野田水泥有限公司 鉱山長 島名寛仁 様
(写真右) 興銀融資租賃(中国)有限公司 総経理 綾間剛夫

江南-小野田水泥有限公司
董事 総経理 笠原 勝 様



リースによる設備導入は、初期費用を抑え、支出を平準化することができるなど多くのメリットがあることから、機械設備の調達手段のひとつとして積極的に活用しております。

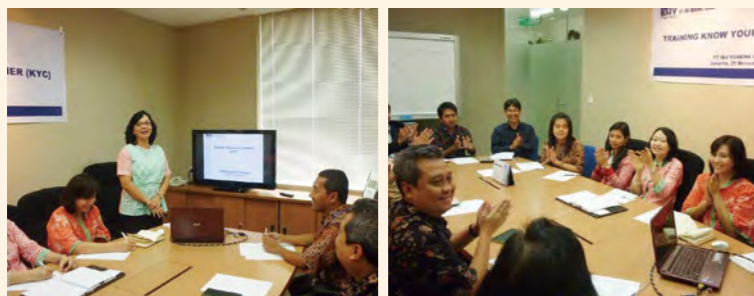
この度の投資では、迅速な対応により円滑な油圧ショベルの調達を実現でき、大変感謝しております。

インドネシア — PT. IBJ VERENA FINANCE —

当社のインドネシア現地法人であるPT. IBJ VERENA FINANCE (IBJV) は、現地のファイナンス会社であるPT. VERENA MULTI FINANCE TBKとの合併リース会社で日系企業及び現地企業のさまざまなファイナンスニーズにお応えしています。

インドネシアの首都ジャカルタを中心とするグレータージャカルタは、都市圏人口で2,400万人を超え、東京圏に次ぐ世界第2位から近い将来、世界一の巨大都市になるといわれています。大きく発展を続けるインドネシアにおいては、オートバイ、自動車から一般消費財まで、さまざまな形で日本企業の進出が進んでいます。

IBJVはこれからも、経験豊富な現地スタッフと協力し一体となったチームワークで、お客さまのファイナンスニーズにお応えしていきます。



現地スタッフとのミーティングの様子



近代化が進むジャカルタ市内

フィリピン — Japan-PNB Leasing and Finance Corporation —

当社のフィリピン現地法人であるJapan-PNB Leasing and Finance Corporation (J-PNB) は、現地の有力銀行 Philippine National Bank との合併リース会社で、日系企業及び現地企業の多様なファイナンスニーズにお応えしています。

富士電機株式会社さまのフィリピン現地法人であるFuji Electric Philippines, Inc.さまにおかれましては、中国、東南アジアでの旺盛なエアコン需要に対応するための、エアコン用の新たなパワー半導体の製造設備導入にあたり、J-PNBのリースを活用されました。

パワー半導体事業は富士電機株式会社さまの主力事業の一つであり、風力・太陽光発電や自動車をはじめ幅広い分野で使用されており、その市場は成長分野として期待されています。



Fuji Electric Philippines, Inc.
President 河田 尚文 様

リースは費用の平準化が図れることにメリットを感じております。特に新商品の事業立ち上げに関しては、キャッシュフローの変動要因が多いこともあり、リースのメリットを享受しております。

現地における会計・財務面を含めファイナンスに関するきめ細やかな助言をいただき、感謝しております。



Fuji Electric Philippines, Inc. 工場外観とエアコン用IPM (パワー半導体) 富士電機株式会社製パワー半導体は世界的に高いシェアを誇っています。

タイ — Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. —



洪水時の街の状況

当社のタイ現地法人であるKrung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. (KTIBJL) は、現地の有力銀行クルンタイ銀行との合併リース会社で、自動車関連を中心に設備投資ファイナンスを展開しています。

2011年10月、タイ中部を中心に大洪水が発生しました。当時、洪水地域が拡大するなかKTIBJLは、お客さまに対し、フォークリフト販売会社から入手した洪水対策マニュアルを可能な限り送信することや、リース契約に付保されている保険情報を速やかに連絡するなど、避難活動や被災設備の迅速な保険処理等に役立てていただきました。

洪水後も日系企業の進出や操業規模拡大の動きは活発です。KTIBJLは当地で業歴21年目を迎えました。豊富な経験を活かし、お客さまの事業活動を全力でサポートしていきます。

日本での短期研修 ~現地のスタッフが興銀リース本社にて短期研修~

短期研修は、わたしたちにとって興銀リースグループの事業を知る大変良い機会となりました。この研修プログラムを通じて、興銀リースグループのマネジメントや各部門の方々からさまざまなお話を伺うことができ、タイで行われていない金融プロダクツや金融サービスについて学ぶことができただけでなく、異なるビジネス環境における営業活動の進め方についても意見交換できたことは大変有意義なものでした。この研修で学んだ知識や経験は、私たちの視野や営業活動の可能性を大きく広げるものとなっています。



(写真左) Ms. Sumana、(写真中央) Mrs. Nareerat、(写真右) Ms. Maryrak

グループ会社が提供するソリューション

興銀リースグループは、お客さまのさまざまなニーズに対し、グループ各社それぞれの顧客基盤や専門機能を最大限に発揮し、グループをあげて最適なソリューションをご提供しています。

東芝医用ファイナンス株式会社

2012年2月に興銀リースのグループ会社となりました東芝医用ファイナンス株式会社は、東芝メディカルシステムズ株式会社及びそのグループ会社との連携により、医療機関をはじめとするお客さまのCT、MRIなど先進機器の導入や、電子カルテ、医事会計システムなど医療IT化の取り組みに対して、メンテナンス付リースをはじめとするさまざまなファイナンスソリューションを提供しています。

東芝医用ファイナンスは、機器メーカーとの連携と専門性の高いノウハウを活かし、お客さまのさまざまなニーズにお応えすることで、医療分野のさらなる発展に貢献していきます。



320列エアディレクターCT
画像提供：東芝メディカルシステムズ株式会社

東芝医用ファイナンス株式会社
東京営業所 所長 松浦 弘幸



高齢化社会の進行や医療制度改革など医療分野の環境変化とともに、お客さまのニーズもさまざまに変化しています。

そのように変化し続けるお客さまのニーズに対応した最適なソリューションをご提供するため、当社ではさまざまなファイナンス商品を用意しております。

今後も医療分野の発展のため、東芝の医用技術と当社のファイナンスソリューションでサポートしてまいります。

興銀オートリース株式会社

興銀オートリース株式会社は、車両に関するさまざまなニーズにお応えするリース会社で、お客さまが車両を導入する際の費用負担を平準化するほか、車両の手配から車検整備、保険・納税管理等の煩雑な業務を代行し、お客さまの「業務の合理化」をお手伝いしています。

興銀オートリースは環境ISO14001の環境目標として「環境配慮型車両の取扱実績の向上・車両メンテナンスリースの取扱台数の向上」を掲げており、お客さまに対しエコカーリース促進キャンペーンや車両メンテナンスリースによる良質なメンテナンスサービスを提供しています。また、車両修理時の部品交換においてリビルト部品^(※)の使用を促進しています。

※ 中古部品を完全に分解・洗浄し、消耗品及び不良部分を交換したリサイクル部品。中古部品の使用できる資源を最大限に有効活用しており、3Rへの貢献につながります。



提携整備工場の様子

興銀オートリース株式会社の主な環境目的と実績

環境目的	2012年度実績
環境配慮型車両の取扱実績の向上	2011年度比 95%
車両メンテナンスリース取扱台数の向上	2011年度比 81%

ケイエル商事株式会社

ケイエル商事株式会社は、当社グループ会社各社のリース物件の売却や処分豊富な経験とノウハウを活かし、お客さまの遊休資産の買取り等、機械設備に関するお客さまのさまざまなニーズにお応えしております。

機械設備の現在価値や将来の中古価値査定、遊休資産の買取り、工場閉鎖のサポート、中古機械の売却まで幅広く取り扱っており、機械設備等資産の有効活用を通じて3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進しております。

ケイエル商事では、お客さまの次のようなニーズにお応えしています。

- ① 遊休設備を売却したい
- ② 設備入替時の旧物件を売却したい
- ③ 工場閉鎖、統合による費用を圧縮したい
- ④ 不要物件の売却可能性や売却見込額を知りたい
- ⑤ 設備を中古物件で導入したい

主な取扱物件

- 工作機械
- 印刷紙工機械
- 射出成形機
- 産業機械
- 食品機械
- 検査機器
- 建設機械
- 木工機械
- 発電機
- 車両(フォークリフト、特殊作業車等)
- その他生産設備



遊休資産査定の様子

グループ会社の概要

※()内%数値は当社の出資比率 (2013年9月30日現在)

顧客基盤の拡大 ~事業会社・金融機関が有する商圏を活用~

IBJ東芝リース(株) (90%) 東芝グループ及び同社取引先が主たる顧客	第一リース(株) (90%) 第一生命取引先が主たる顧客	日産リース(株) (100%) 日産自動車グループ及び同社取引先が主たる顧客
東芝医用ファイナンス(株) (65%) 医療機器のベンダーファイナンス	ユニバーサルリース(株) (90%) 山九グループが主たる顧客	東日本リース(株) (95%) 東日本銀行取引先が主たる顧客
東邦リース(株) (28.3%) 東邦銀行取引先が主たる顧客	十八総合リース(株) (17.3%) 十八銀行取引先が主たる顧客	

専門機能・サービスの提供 ~リースの機能を補完しメニューを多様化~

興銀オートリース(株) (100%) オートリース	ケイエル・リース&エステート(株) (100%) 建物リース	ケイエル商事(株) (100%) 中古物件売買
ケイエル・インシュアランス(株) (100%) 生命保険募集・損害保険代理	ケイエル・オフィスサービス(株) (100%) 事務受託	

海外拠点 ~成長著しいアジアでの積極展開~

興銀融資租賃(中国)有限公司 (100%) 中国現地法人	PT. IBJ VERENA FINANCE (85%) インドネシア現地法人	Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. (49%) タイ現地法人
Japan-PNB Leasing and Finance Corporation (10%) フィリピン現地法人		IBJ Leasing (UK) Limited (100%) 英国現地法人

ワーク・ライフ・バランス

社員一人ひとりが最大限に能力を発揮し、安心して仕事に取り組むための、働きやすい職場環境の整備と多様な働き方の実現に向け、「ワーク・ライフ・バランス」を推進しています。

出産・育児及び介護支援制度

興銀リースグループでは、仕事と育児の両立を支援するため、出産・育児等に関する各種制度を整備しています。

育児休業制度は、最長1年半の取得が可能で、復職した社員は、子女の小学校就学前まで就業時間の短縮勤務が可能です。

また、親族に介護が必要となった場合には、介護休業制度において、対象親族1人につき3カ月の介護休業の取得が可能です。

第一リース株式会社
谷 奈津子



「働くことが好き」、「キャリアを活かしたい」という思いからこの制度を利用しました。休暇中は日々成長する子供の姿を毎日見ることができ、また両親にも孫の姿を何度も見せることができたため、とても良かったと満足しています。
現在は時短勤務で働いているため、より効率的な時間の使い方を心掛けて仕事に取り組んでいます。

「次世代を担う子供の育成支援に積極的な企業」として2度目の認定を受けました。

当社は、2013年2月に東京労働局長より、次世代育成支援対策推進法に基づく「次世代の社会を担う子供の育成支援に積極的に取り組む企業」として2007年に続き2度目の認定を受け、「次世代認定マーク」を取得しました。



出産・育児休業取得者

2010年度	2011年度	2012年度
13名	7名	9名

ジョブリターン制度

出産や育児、配偶者の転勤等の理由により、やむを得ず退職をした社員が職場復帰できるよう再雇用制度（ジョブリターン制度）を導入しています。慣れ親しんだ職場環境に戻ることで、身につけたスキルやノウハウを再び発揮し、活躍できる職場を提供しています。

制度導入から累計で12名の社員が復職し、本社や全国の支店で活躍しています。

ビジネスサポートセンター（札幌）
杉本 麻理子



夫が札幌に転勤となったため退職しましたが、機会があれば、身につけた知識を活かすことのできる職場に復帰したいと考えていました。
当初は仕事と家事の両立に不安を感じていましたが、職場環境に恵まれ、また勤務条件も配慮いただき、現在では制度を利用して良かったと思っています。

リフレッシュ休暇制度

社員の心身のリフレッシュと自己啓発を目的として、勤続年数5年毎に5日間（土・日を含め9日間）の特別連続休暇が与えられるリフレッシュ休暇制度を導入しています。

定期的に自らを振り返り、心身ともにリフレッシュできる大切な時間とゆとりを持つことが社員の活力向上につながってくると当社は考えています。



名古屋支店
武智 誠史

リフレッシュ休暇制度を利用し、新婚旅行を兼ねてドイツ旅行に行きました。古城巡り、市内観光、ご当地料理と本場のビールを満喫し、また2人の好きなサッカー観戦をしました。普段なかなか行くことができない海外に行くことができ、心身ともにリフレッシュできたため、とても良かったと思っています。

多様な人材の活用

当社グループは、多様な人材の活用に努めており、社員一人ひとりが新たな刺激を受けることで、組織の活性化につながっています。

新規学卒者採用・中途・障がい者採用

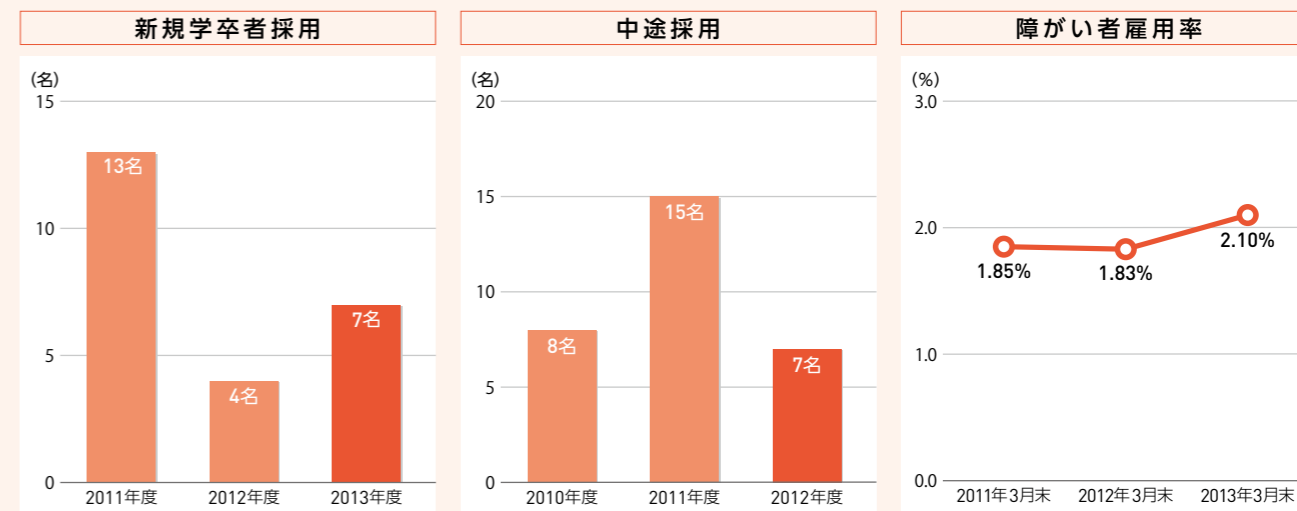
当社グループは、公平・公正な採用選考を基本方針とし、新規学卒者採用とともに、さまざまな経歴を有す人材の中途採用や障がい者の雇用促進など多様な人材の採用に努めています。

さまざまな個性をもった人材が能力を最大限に発揮し、「共に考え」、「共に行動」し、「共に成長」していくことが、当社グループの未来を支えていると考えています。



2013年度新入社員

興銀リースの実績データ



海外からの研修生の受け入れ

当社では、1988年から毎年1名の海外学生を研修生として受け入れています。これは、海外学生が当社国際部を中心にさまざまな部署において、営業案件の補助や契約書類・各種資料の作成などを行い、当社における一連の業務を1年間にわたり経験する制度です。

受け入れる研修生の国籍はさまざまですが、研修生と社員は業務を通じてだけでなく、業務を離れた場においても積極的にコミュニケーションを図り合い、お互いの文化・風習を理解し合うことのできる良い機会となっています。



国際部
ジャスティン ヒスカ
(Justin Hyska)

5年前に初めて来日した際、日本の文化に非常に興味をもち、帰国後も「いつか日本に戻りたい」と思っていました。米国の大学では経済学と金融を履修しており、金融業界で働くことを志望しています。
興銀リースのインターンシッププログラムは、「日本文化」と「金融業界」の双方を満たすものであり、これから1年間、業務に精励すると同時に、多くの人に接し、学んでいきたいと思っています。

社員一人ひとりの成長のために

興銀リースグループは、当社グループの持続的な成長・発展において最も重要な経営資源である人材について、経営方針に「積極的な人材の育成・登用と自己研鑽を通じて、活力に満ち、働き甲斐のある会社風土の醸成」を掲げ、人材育成プログラムの拡充や人事制度の整備に取り組んでいます。

人材育成プログラム

当社グループは、社員の成長レベルに応じた階層別研修及び自由選択型研修を含む実務スキル研修とともに、自己研鑽及び資格取得の奨励をサポートする通信教育制度等、きめこまやかな研修制度を設けています。

研修体系図

	階層別研修		実務スキル研修	通信教育制度	その他
	総合職	一般職			
管理職層	外部経営セミナー		外部講習 自由選択型研修 営業スキル向上研修 指導担当者研修 財務分析講習	自己啓発受講	キャリアデザイン研修 Eラーニング 語学研修
	マネジメント研修				
	選抜型マネジメント研修				
	マネジャー研修				
非管理職層	ヒューマンアセスメント研修	事務職リーダー研修	外部派遣	必修受講(入社5年目)	
	中堅担当研修	事務職研修			
	事務職研修				
	フォローアップ研修	フォローアップ研修			
	新人研修(導入・OJT実務)	新人研修(導入・OJT実務)			

海外トレーニー制度

当社グループでは、実際に海外での仕事を体験することにより、現地でのリースビジネスのノウハウ取得やグローバルなコミュニケーション能力、豊かな国際感覚を身につけた人材を育成するため、当社現地法人等への1年間程度のトレーニー制度を導入し、現在2名の社員を派遣しています。

PT. IBJ VERENA FINANCE
(インドネシア現地法人)
林 隆博



※職場はパテック推奨です。

会社の語学研修への参加をきっかけに、海外で仕事をしたいと考えていました。しかし、いざ現地に赴任すると、街中では英語が通じず、コミュニケーションに苦労しましたが、今では最低限のインドネシア語での会話はできるようになり、異国文化を楽しんでいます。

業務においては、提案のポイントや現地の財務・税務・会計面の知識を身につけることができました。想像以上に進んでいる日本企業のグローバル化に、このような知識、経験を活かしていきたいと思っています。

語学研修

当社グループは、積極的に海外への事業展開を推進しており、そのためのグローバル人材の育成に向け、語学研修を実施しています。また、社内での自由参加型の語学研修として、就業前の時間を利用し、毎年インターンシップで入社する外国人社員を講師とした勉強会を実施しています。



TOPICS

パシフィッククラブ

パシフィッククラブとは、興銀リースグループで働く役員・社員の互助親睦を図る会で40年近い歴史を有しています。当社グループの役員・社員のため、社内報の企画・制作のほか、その時々でさまざまな活動を企画・実行してきています。

今回、前バレーボール全日本女子チーム監督(アテネ・北京五輪)の柳本 晶一様による講演会を開催し、「目標の設定」、「チーム作り」、「選手とのコミュニケーション」、「監督の役割」など大変示唆に富んだお話をいただきました。



前バレーボール全日本女子チーム監督 柳本 晶一様

ジョブ・ローテーション

当社グループでは、専門性と多様性をあわせ持つ人材育成のため、さまざまな職務を経験できるようジョブ・ローテーションを行っています。

これは、社員が異なる職務を経験することにより、自らが認識していなかった適性や能力に気づいてもらうことと、職務経験を通じて身につけた知識やスキルを新たな業務にも活かしてもらうことを目的としています。

また、社員の異動・配置にあたっては、各部署の要員希望だけでなく社員の自己申告* による希望も考慮するよう努めています。

*自己申告制度：毎年12月に社員が、異動希望、本人の健康状態、家族に関することなどを申告する制度。
本制度は、今後のキャリア形成を踏まえた適材適所の人材配置を実現させるために活用しています。

東京営業第二部
天河 由佳

決算関連業務に携わる部署から営業部へ異動し、営業アシスタントとして契約書類の作成などサポート業務を行っています。

以前の部署と違い、お客さまと関わる仕事なので、時には事務が重なって大変なこともあります。営業担当者として協力し、効率よく仕事を進められた時は自分の成長を実感することができます。

キャリアアップ制度

女性の活用を推進するため、一般職社員を対象にしたキャリアアップ制度を実施しています。

チーフアシスタント制度

一般職社員の指導的な役割を担う「チーフアシスタント」職階を設けています。

営業トライアル制度

一般職から総合職(営業)への職系転換制度です。営業職務を経験することにより、潜在的な能力を最大限に発揮し、新しいキャリアアップの道を自立的に形成していくことを支援しています。

情報機器営業部
山口 理紗子 <営業トライアル制度>



人と関わる新しい仕事にチャレンジしたいという思いから、営業トライアル制度を利用しました。営業はお客さまの「顔」が見えることが魅力ですが、さまざまなお客さまへの対応に難しさを感じることもあります。

与信判断、社内事務など苦労する面もありますが、お客さまからの信頼を受け、案件成約に至った時は何とも言えない達成感が得られます。今後も「気持ちの良い挨拶」と「笑顔」をモットーに営業に取り組んでいきたいと思っています。

TOPICS

クラブ活動

当社には、「テニス部」、「野球部」、「サッカー部」、「釣り部」、「山の会」、「音楽部」等さまざまなクラブ活動があります。

共通の趣味をもつ社員が、普段の業務では味わえないコミュニケーションを楽しんでいます。テニス部は、幅広い年齢層かつ初心者から上級者まで所属していますが、リース事業協会開催の団体戦に出場し、毎年輝かしい成績を残しています。



リース事業協会開催の団体戦で優勝した際のテニス部

環境・社会への取り組み

興銀リースグループは、社会的課題である環境・エネルギーについて、リース等の事業を通じた取り組みとあわせて、わたしたちの事業活動自体に起因する環境負荷の低減に努めています。
また、当社グループでは、社員一人ひとりが自発的に参加できる社会貢献活動を推進しています。

当社及びグループ会社9社を対象として環境に関する国際規格ISO14001の認証を取得しています。
国際規格ISO14001に基づく「環境マネジメントシステム」の内容は以下のとおりです。

環境方針：興銀リースグループの環境に対する基本方針

- ① 環境関連法令を遵守するとともに、企業としての社会的責任を常に認識し、環境保全活動について継続的改善を図ります。
- ② 環境保全に資する商品・サービスの開発及び提供を通じて、環境保全と経済発展の両立を図ります。
- ③ リース終了物件の適正管理はもとより、リサイクル及びリユースを推進し、循環型社会の構築に貢献します。
- ④ あらゆる事業活動において、環境の影響把握に努め、環境負荷の低減及び環境汚染の予防に努めます。

主な環境目的と環境目標

環境目的	—中期目標—	環境目標 —単年度目標—		
		2012年度設定内容	実績	2013年度設定内容
営業系	環境に配慮した物件への取り組みを増加	環境配慮型物件の取扱実績を2011年度比5%増加	2011年度比+131%	2012年度比5%増加
	環境保全に資する新たな商品・サービスの具現化	全社的な環境営業の推進	提案資料作成、勉強会実施等	全社的な環境営業の推進
満了、中古系	中古資産買取による3Rの推進	中古取扱高8.5億円	中古取扱高7.6億円	中古取扱高7.8億円
	循環型社会への持続的貢献	リユース率55%以上	リユース率67%	リユース率60%以上
	順法処理の徹底及びリサイクル業者の選定	産業廃棄物処理委託会社の定期調査全社実施	全社実施	産業廃棄物処理委託会社の定期調査全社実施
オフィス系	紙使用量の削減	1人あたり月間紙使用枚数5%削減(2007~2009年度平均比)	5%削減	2010~2012年度月平均水準(1人あたり使用枚数)を維持
	電気使用量の削減	全社的な節電施策の継続実施	全社的な節電施策を実施	2010~2012年度月平均水準を維持

※リユース率は…売却件数/リース・再リース終了件数

■ 環境マネジメントシステムの組織体制

当社グループは、「CSR統括責任者」のもと、「環境管理責任者」が環境活動全体の管理を担い、また当社「環境運用責任部」及びグループ各社の「環境運用責任者」が環境目標達成に向けた取り組みを推進することで、環境マネジメントシステム(PDCAサイクル)の確実な運用を確保しています。

オフィス用品のリサイクル促進

当社グループでは、購入するオフィス用品を統一し、在庫管理をグループ会社のケイエル・オフィスサービス株式会社に委託、集中管理することで、無駄な発注も減らし、リサイクル促進に貢献しています。

Column

当社グループでは、政府からの節電協力依頼に応えるべく、昨年度に引き続き今年度も下の節電施策を実施いたしました。

節電施策の例

- ノー残業デーの実施
- 蛍光灯の間引き
- 空調設定温度の管理

社会貢献活動への取り組み

■ ゴールドリボン運動の支援

ゴールドリボン運動とは、小児がんの子供たちを支えるために「認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク」が主催し展開されている運動です。小児がんは、日本では子供の病死原因の第1位となっていますが、大人のがんに比べ圧倒的に患者数が少ないため、その治療法や薬などの研究開発はなかなか進んでいないのが現状です。当社グループは売上金の一部をゴールドリボン運動支援に寄付することができる自動販売機を本社内に設置することにより、この運動を支援しています。

2012年度寄付額	62,200円
-----------	---------

■ エコキャップ運動への参加

エコキャップ運動とは、一般のゴミとして焼却処分されると二酸化炭素(CO₂)の発生源になるペットボトルのキャップを、再資源化のため分別回収のうえリサイクル事業者に売却することによって得た収益をもって発展途上国の子供たちに感染症のワクチンを届ける運動です。エコキャップ800個で1人分のワクチンが購入でき、約6kgのCO₂発生を抑制できます。

当社グループは、本社ビル及び支店内の各所にエコキャップ回収ボックスを設置し、エコキャップの回収に積極的に取り組んでいます。

年度	回収重量	個数(概算)	ワクチン数換算 ※1	CO ₂ 換算 ※2
2012年度	83.92kg	33,567個	41.9人分	265.08kg

※1 ポリオ(小児麻痺)ワクチンは、約800個(=20円相当)で1人分と換算

※2 CO₂は、回収重量1kgにつき3,150gにて換算



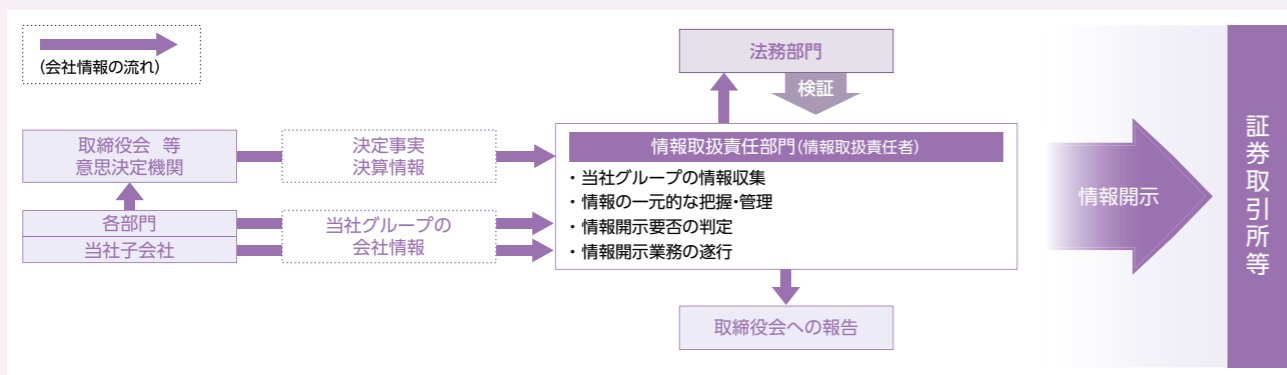
株主・投資家とのコミュニケーション

興銀リースグループは、企業活動の透明性を確保するため、広く情報公開に努め、公平かつ適時適切な情報開示及び株主・投資家の皆さまとの積極的なコミュニケーションを通じ、社会からの信頼を得よう努めていきます。

情報開示ポリシー

当社は、株主をはじめとするステークホルダーの権利・利益を守るため、当社グループ連結ベースをもとに、広く情報公開に努め、適時適切で公平な情報開示により企業活動の透明性を確保するとともに、積極的かつ正確・迅速な情報開示を行う体制を整備し適正に運用いたします。

当社グループにおける情報開示体制の概要図



積極的なIR活動

当社は、公平かつ適時適切な情報開示を継続的に行うとともに、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを充実させ、当社への理解を深め企業価値を適正に評価していただけるよう努めることをIR活動の基本としています。機関投資家・アナリスト向けの決算説明会や国内外の投資家の皆さまとの定期的な個別ミーティングのほか、個人投資家の皆さま向けの会社説明会も毎年実施しています。

2012年度IR活動実績

決算説明会	2回
個人投資家説明会	2回
機関投資家等との個別ミーティング	89回



個人投資家向け会社説明会

IRサイトの充実

当社は、ホームページのIRサイトに決算情報や格付情報のほか、アニュアルレポートや株主総会関連資料を掲載し、株主・投資家の皆さまに幅広い情報をお伝えするよう努めています。また、決算・財務に関する資料を英文のホームページにも掲載し、海外への情報発信にも努めています。

URL IRサイト <http://www.ibjl.co.jp/ir/>

IRサイト掲載の各種資料

- 決算短信(連結)
- 有価証券報告書、四半期報告書
- アニュアルレポート(和文・英文)
- 決算説明会資料(和文・英文)
- 株主総会招集通知
- 臨時報告書(議決権行使結果) 他

株主の皆さまとのコミュニケーション

株主総会

当社は、株主の皆さまが議案を十分に審議いただけるよう早期に招集通知を発送し、またより多くの株主の皆さまに出席いただけるよう集中日を避けて開催するなど、株主総会の活性化に取り組んでいます。

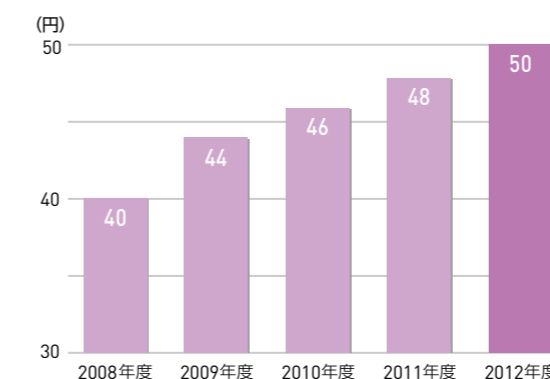


株主還元

配当政策

当社は、株主の皆さまへの利益還元と株主資本充実のバランスに十分留意し、業績に応じた配当を実施することを基本方針としています。

1株あたり年間配当金



株主優待制度

当社は、株主の皆さまからのご愛顧に感謝し、毎年3月31日を基準日とする株主優待制度を実施しています。

株主優待制度

	連続2期以上保有の場合 ^(※)
1単元(100株)以上保有の株主さまに一律3,000円相当の図書カードを贈呈	1単元(100株)以上保有の株主さまに一律4,000円相当の図書カードを贈呈

※連続保有期間2期以上の確認は、基準日(毎年3月31日)の株主名簿に、前期末と同一株主番号で連続して記載された株主さまといたします。



オリジナル図書カード

株主アンケート

当社は、年2回(6・12月)、株主の皆さまへの「年次・中間報告書」にアンケートを添えて送付しています。このアンケートに対し、2013年は2,000名を超える株主の皆さまから事業やIR等に関する貴重なご意見・ご感想をいただいています。

当社は、今後も株主の皆さまからいただく貴重な声を経営に反映させていくことで、企業価値のさらなる向上に努めていきます。



「年次報告書」表紙



アンケートハガキ

コーポレート・ガバナンス／内部統制

興銀リースグループは、社会的存在である企業の責任と役割を継続的に果たすため、コーポレート・ガバナンス及び内部統制の適切な整備、運用に努めています。

コーポレート・ガバナンス

■ 基本的な考え方

当社グループは、企業価値を長期かつ継続的に向上していくうえで、株主と経営者の関係の規律づけを中心とした企業活動を律する枠組み、すなわちコーポレート・ガバナンスを有効に機能させることが必要不可欠であると考えています。

■ 取締役会及び執行役員

興銀リースの取締役会は、議事運営の活発化と意思決定の迅速化のため2013年9月現在8名で構成され、うち3名を独立性の高い社外取締役とし、客観的な視点による透明性の確保を図るとともに業務執行を兼務しない取締役会長が議長を務め、取締役会の監督機能と意思決定の適正を確保しています。

また、取締役会の決定に基づき、迅速かつ効率的に業務

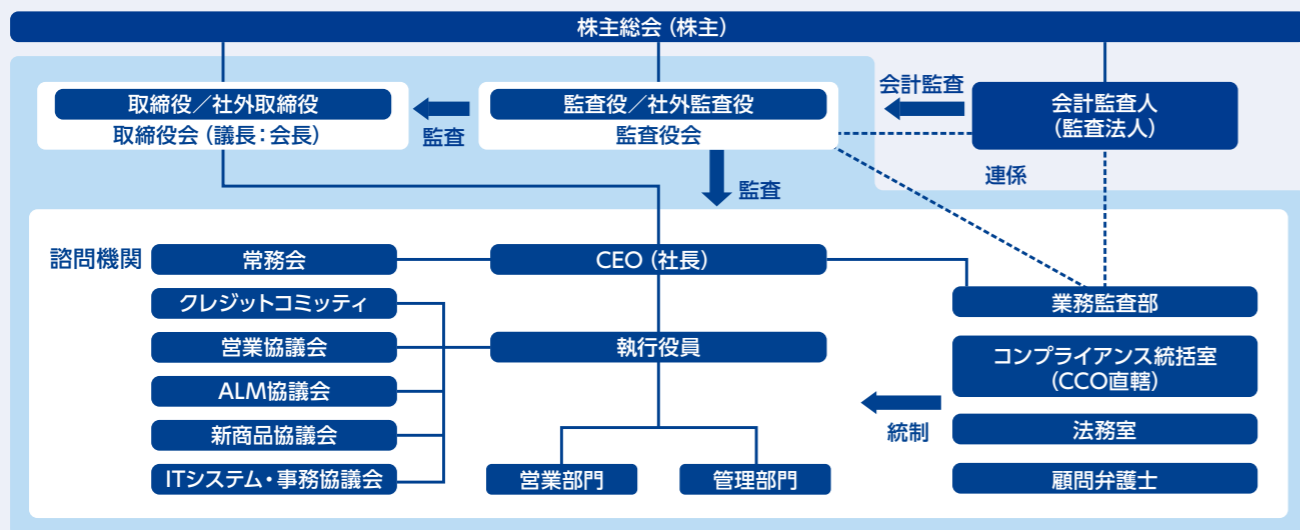
を執行するため執行役員制度を採用し、CEO以下に業務執行権限を委譲しています。各々の業務執行においては、決裁者を定め責任の明確化を図るとともに、決裁者の判断支援と相互牽制を確保するため、諮問機関を設置しています。

■ 監査役及び監査役会

当社は、監査役4名のうち3名を社外監査役とし、監査役(会)は取締役の忠実義務・善管注意義務等の法的義務の履行状況及び業務の適正な執行などを監視しています。

監査役は、取締役会及び常務会等の重要な会議に出席するほか、代表取締役と定期的に会合し監査上の重要課題について意見を交換しています。あわせて内部監査部門や会計監査人と緊密な関係を保ち、監査の効率と質の向上に努めています。

■ コーポレート・ガバナンス枠組図



内部統制

当社グループは、業務の適正な執行を確保するため、内部統制の強化に取り組んでいます。当社に、グループ全体の内部統制を統括する内部統制統括室を設置し、会社法に基づく内部統制(取締役の職務の執行が法令及び定款に適合するための体制その他会社の業務の適正を確保する

ための体制の整備)及び金融商品取引法に基づく内部統制(財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制の評価)に関し、体制の整備の充実と適切な運用に努めています。

コンプライアンス／リスクマネジメント

法令・諸規則を遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を実践いたします。また事業活動に伴い発生するリスクの迅速、的確な管理に努めています。

コンプライアンス

当社グループは、コンプライアンスを徹底するため、「コンプライアンス統括責任者」のもと、コンプライアンスに係る具体的施策を実行する「コンプライアンス統括室」を設置し、右記の施策などによりコンプライアンス態勢の実効性を確保しています。

- 1 「興銀リースグループの企業行動規範」を定めるとともに、具体的手引書として「コンプライアンス・マニュアル」を制定し、遵守の徹底を図っています。
- 2 コンプライアンスの実践計画として毎年「コンプライアンス・プログラム」を策定し、それに則した教育・研修等を通じて、コンプライアンス態勢の浸透を図っています。
- 3 社長直轄の業務監査部が、内部監査の実施を通じて、コンプライアンスの状況を調査・検証し、その報告に基づいて、所要の措置をとる仕組みを構築しています。
- 4 社内通報制度として、コンプライアンス等に係わる相談・報告窓口を設置するとともに、「内部通報者保護規程」を定めています。

リスクマネジメント

当社グループは、事業活動の中で発生し、経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるさまざまなリスクを迅速かつ的確に把握・分析し管理する体制を整備し、その種類ごとに、事前の予防策や発生時の対応策を定め、損失を最小限

にとどめる措置を講じています。特に、信用リスク、市場リスク及び価格変動リスクについては、「統合リスク管理」により定量的に把握し、自己資本の一定範囲内にリスクをコントロールする仕組みを導入しています。

信用リスク (貸倒や物件価値の低下等によるリスク)	「取引先信用格付制度」をベースに、案件審査のほか、金融庁の金融検査マニュアルに準じた厳格な資産査定を行い、所要な償却・引当を実施するなど信用リスクを適切に管理しています。
市場リスク (金利、株式等の変動によるリスク)	常に市場の動向を計測・分析し、ALM(資産・負債の総合管理)の手法により金利等の変動リスクを適切に管理しています。関係部の担当役員をメンバーとする「ALM協議会」において、月次でのALM運営方針や損失の限度などを決定しています。
価格変動リスク (オペレーティングリースの見積残存価額等の変動によるリスク)	各対象物件の中古マーケットの価格動向などを定期的にモニタリングし、将来見積価格の変動リスクを適切に管理しています。
事務リスク (事務の不適切な処理によるリスク)	社内イントラネット上で閲覧可能な各種事務マニュアルを整備するほか、IT統制や内部監査の実施などによりチェック体制を構築しています。また国際規格である品質マネジメントシステムISO9001の認証を全社的に取得し、事務品質の維持・向上を図っています。
システムリスク (ITシステムの障害等によるリスク)	「ITシステム運用管理規程」を定め、その信頼性・安全性を確保するとともに、障害発生時には、「ITシステム等の障害時における事務対策要綱」に基づき、適切な対応を行えるよう体制を整備しています。
災害リスク (自然災害、紛争等非常事態発生によるリスク)	非常事態の発生に際しては、自然災害に係わる場合は「災害対策要綱」、その他の災害に係わる場合は「緊急対策要綱」に基づいて、適切な対策を実施することにより、人命及び施設などの安全並びに営業の維持を図れるよう備えています。

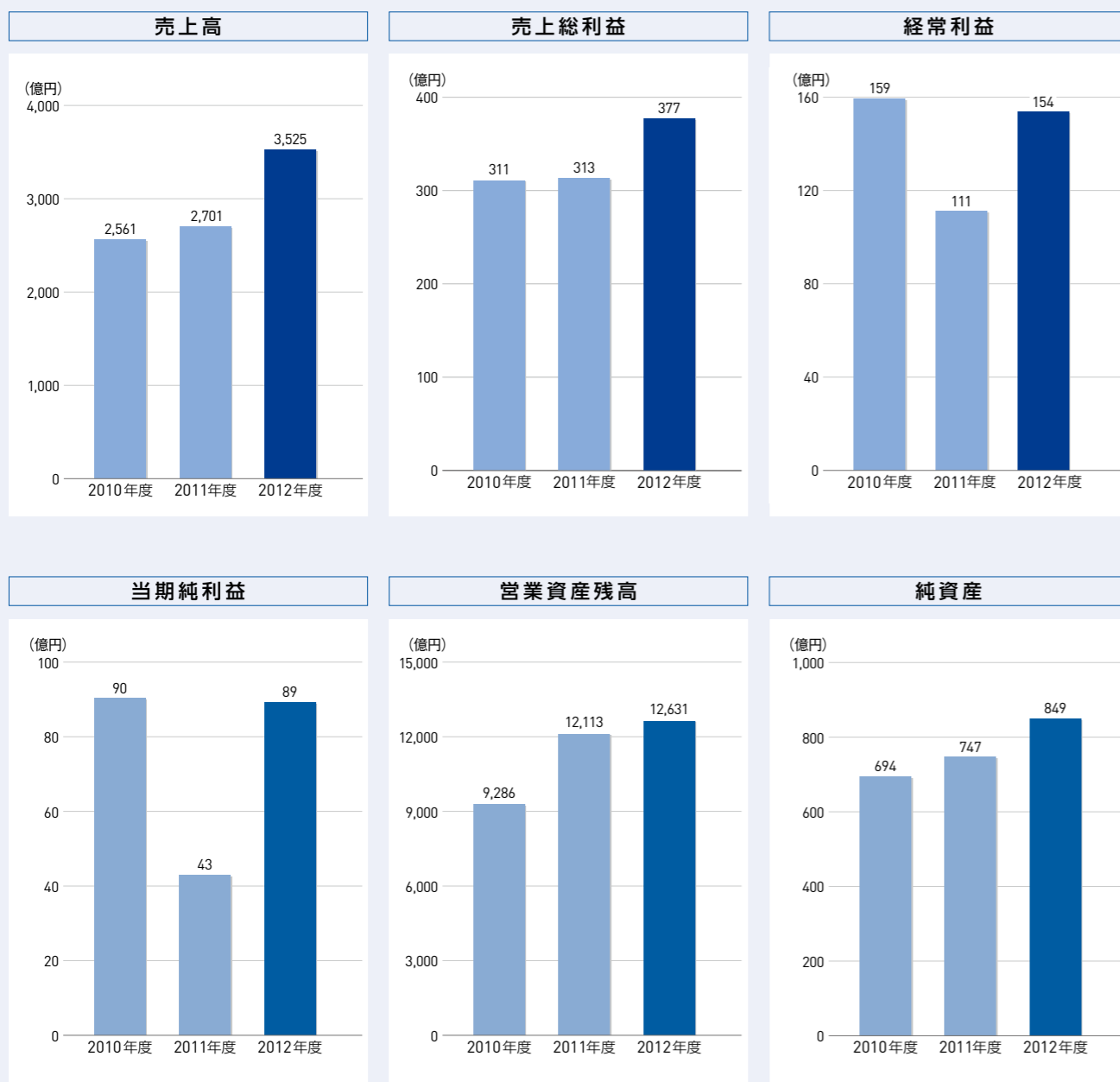
興銀リースグループの概要

興銀リース株式会社

■ 会社情報 (2013年9月末現在)

商号：興銀リース株式会社
 本社所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目2番6号
 設立：1969年12月1日
 資本金：178億7,419万円
 従業員数：連結1,064名 単体528名
 事業内容：総合金融サービス

■ 財務情報 (連結)



支店

札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北一条西5-2	TEL. 011-231-1341
仙台支店	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-4-1	TEL. 022-223-2611
大宮支店	〒330-0802	さいたま市大宮区宮町2-96-1	TEL. 048-631-0751
新潟支店	〒951-8061	新潟市中央区西堀通六番町866	TEL. 025-229-7800
富山支店	〒930-0004	富山市桜橋通り5-13	TEL. 076-444-1080
静岡支店	〒420-0857	静岡市葵区御幸町5-9	TEL. 054-205-3330
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦1-11-11	TEL. 052-203-5891
京都支店	〒604-8152	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659	TEL. 075-223-1545
大阪営業部	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋4-1-1	TEL. 06-6201-3981
神戸支店	〒650-0034	神戸市中央区京町69	TEL. 078-392-5440
広島支店	〒730-0031	広島市中区紙屋町2-1-22	TEL. 082-249-4435
高松支店	〒760-0017	高松市番町1-6-8	TEL. 087-823-7321
福岡支店	〒810-0001	福岡市中央区天神1-13-2	TEL. 092-714-5671

グループ会社

IBJL東芝リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6700 (代表)
第一リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-3501-5711 (代表)
日産リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6830
興銀オートリース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6800
東芝医用ファイナンス株式会社	〒113-0033	東京都文京区本郷3-15-2	TEL. 03-3813-1021
ユニバーサルリース株式会社	〒104-0054	東京都中央区勝どき6-5-3	TEL. 03-3536-3981
東日本リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6818
ケイエル・リース & エステート株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6833
ケイエル商事株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6835
ケイエル・インシュアランス株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6826
ケイエル・オフィスサービス株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6840
東邦リース株式会社	〒960-8033	福島県福島市万世町5-10	TEL. 024-521-1441
十八総合リース株式会社	〒850-0841	長崎県長崎市銅座町4-18	TEL. 095-822-1171

興銀融資租賃(中国)有限公司	(上海總公司) 上海市長寧区婁山関路555号 長房国際広場20階 08-10室 (広州分公司) 広州市天河区天河路208号 粤海天河城大厦13階-1336室
PT. IBJ VERENA FINANCE	Sentral Senayan III, 13th Floor, Jl.Asia Afrika No.8, Gelora Bung Karno, Senayan, Jakarta Pusat 10270, Indonesia
IBJ Leasing (UK) Limited	Bracken House, One Friday Street, London EC4M 9JA, U.K.
Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd.	18th Floor, Nantawan Bldg., 161 Rajdamri Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand
Japan-PNB Leasing and Finance Corporation	7th Floor, SaLustiana D. Ty Tower 104 Paseo de Roxas, Legaspi Village, Makati City, Metro Manila, Philippines



興銀リース株式会社

お問い合わせ先 興銀リース株式会社
企画部 CSR推進室
Tel : (03) 5253-6540
Fax : (03) 5253-6539
ホームページ <http://www.ibjl.co.jp>



この冊子を印刷・製本する際に使用した電力量（100kWh）は、グリーン電力でまかなわれています。